

《設置趣旨》

平成26年7月29日中央防災会議
防災対策実行会議提出資料(一部修正)

中央防災会議関連報告書(抜粋)

ア 防災対策推進検討会議最終報告書(平成24年7月中央防災会議防災対策推進検討会議)

国と地方公共団体間、地方公共団体相互間の広域応援を総合的かつより円滑に実施するため、可能な範囲で災害対応業務のプログラム化、標準化を行うべき。

イ 南海トラフ巨大地震対策について(最終報告)(平成25年5月中央防災会議防災対策推進検討会議南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ)

広域的な活動を円滑に行うために、国、地方公共団体、その他の防災関係機関及び関連事業者は、活用資機材の名称や規格、活用要員の呼称と能力要件、取り扱う書類の様式等に関する標準化・共有化や、必要に応じてそれを活かした支援アプリケーション類の開発を進める必要がある。



多様な主体が活動する災害時において、各機関の連携が円滑に行われるとともに、全体として効率的な活動が行われ、災害の種類や大小に関わらず対応できるよう、災害対策の標準化を推進する必要



災害対策標準化推進WGの設置